

平成28年度 発達支援相談室活動報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 発達相談

平成28年4月1日以降の新規受付件数は22件であり、平成28年4月1日以前からの引き継ぎケースと合わせると、本年度の総登録件数は75件であった。

表1 登録件数

受付別	件数
新規受付ケース(平成28年4月以降新規受付)	22
引き継ぎケース(平成28年4月以前に受付)	53
合計	75

年齢別にみると、乳幼児が16人、児童41人、生徒(中学生)6人、生徒(高校生)6人、高校生以上が4人、成人が2人であり、学齢期を中心に幅広い年齢層の発達に関わる相談を受けていることがわかる。

表2 年齢区分別

年齢区分	人数
乳幼児(就学前)	16
児童(小学生)	41
生徒(中学生)	6
生徒(高校生)	6
高校生以上(未成年)	4
成人	2
合計	75

相談内容別の件数は表3の通りであり、「発達障害」に関するものが72件と最も多く、全体の90%以上を占めている。

表3 相談内容別

主訴(相談内容)	件数
発達障害	72
知的障害	3
合計	75

面接形態別相談件数は親単独面接が14件、親子並行面接(時間別並行面接を含む)が61件、心理検査が2件であった。インテーク(受理面接)のみで終了し、年度内に登録に至っていないケースは1件であった。

表4 面接形態別

面接形態	件数
親単独面接	14
親子並行面接(別時間並行面接を含む)	61
心理検査	2
インテークのみ	1
合計	78

月別の面接およびプレイセラピー回数は表5の通りである。2月の回数が最も多く、総回数は1247回であった。相談室の休室期間が含まれる4月、8月、3月は相談回数がやや少ないが、平均すると一か月あたりおよそ100回程度の面接およびプレイセラピーを実施している。

表5 月別面接回数(本年度)

月毎	回数
平成28年4月	64
平成28年5月	100
平成28年6月	120
平成28年7月	126
平成28年8月	41
平成28年9月	109
平成28年10月	127
平成28年11月	134
平成28年12月	103
平成29年1月	102
平成29年2月	137
平成29年3月	84
総面接回数	1247

転帰は継続が61件、終結が12件、中断となったケースは2件であった。

表6 転帰

区分	件数
継続	61
終結	12
中断	2
合計	75

(2) グループプレイセラピーの発達相談

発達障害の児童を対象にグループプレイセラピーを実施した。実施月と回数および参加児童数を表7にまとめる。1回当たりの平均参加児童数は7名であり、5～8名の範囲で変動した。今年度の実施期間は平成28年5月～平成29年2月までであり、8月と9月は休みであった。グループプレイセラピーの実施に際し、グループ運営を飯塚一裕センター担当教員が、保護者支援を吉岡恒生センター担当教員がそれぞれ担当した。また、協力スタッフとして学生相談スタッフ（特別支援学校教員養成課程および特別支援教育特別専攻科所属学生）13名がプレイセラピーを担当した。

表7 グループプレイセラピー実施回数

実施月	実施回数	参加児童数
平成28年 4 月	0	0
平成28年 5 月	1	5
平成28年 6 月	2	11
平成28年 7 月	2	12
平成28年 8 月	0	0
平成28年 9 月	0	0
平成28年10月	2	14
平成28年11月	2	15
平成28年12月	1	7
平成29年 1 月	1	6
平成29年 2 月	2	16
平成29年 3 月	0	0